

## 資源管理 WG 委員名簿

2018 年 4 月 3 日現在

## 【委員】

崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長
杉山 涼子	株式会社杉山・栗原環境事務所 取締役
細田 衛士	慶應義塾大学経済学部 教授
森口 祐一	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授
高橋 暢明	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 計画推進部 運営担当課長
古澤 康夫	東京都環境局資源循環推進部計画課 資源循環推進専門課長

(敬称略、五十音順)

## 【オブザーバー】

勝野 美江	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局 参事官
鈴木 弘幸	環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐

(敬称略)



資料 2

## 第 1 2 回資源管理WGのまとめ

総務局 持続可能性部

2018年4月3日

## 第12回資源管理WGでいただいたご意見(1/3)

分野	ご指摘事項概要
パブコメへの対応	リユース食器の安全性やセキュリティに関しては使い捨て食器とあまり変わらないのではないかという意見は当然の話である。
	レジ袋削減なども世界的な大きなうねりの中で、もう一度、無料配布中止なり、リユース型の使用を徹底するなり、しっかりと考える必要がある。
大目標と方向性	入口側と出口側の両方があることを明確にするということで、「Sustainable Resource Use and Zero Waste」というような表現がよいのではないか。
	資源の入口側に関わる問題として、大目標の補足説明の中に「Zero Deforestation」という言葉を盛り込むべき。
	資源の上流側の問題について、運営計画の中でしっかり情報発信をしていくことは大きな役割である。
	世界に発信する際には、Tokyo2020はSustainabilityをしっかりと考えて運営していくということを英語できちんと発信する言葉を作る必要がある。
	全体の横串を刺すようなメッセージについては賛成。それがあって、それぞれの主要テーマの大目標があるというのが自然だと思う。
	「Sustainable Resource Use」と「Zero Waste」は持っている理念は基本的に似ており、一言で言えることは比較的シンプルにした方がよい。

## 第12回資源管理WGでいただいたご意見(2/3)

分野	ご指摘事項概要
大目標と方向性	「Zero Wasting」でインプットもアウトプットも含まれると解釈できるのではないかと思うので、覚えやすいということを見ると「Zero Wasting」がよい。
	資源管理分野でも森林資源を保全するということは明確に打ち出したいという思いがあるので、大目標を説明する中には、そうした思いも入れ込んだ形にして欲しい。
	木材の調達に関して、目的は持続可能な資源の使用であり、その手段として調達コードがあるということになっているが、決めた手段の通りにやるから目的は達成されるという風になると、目的と手段が混同してしまうので、論理を整理する必要がある。
	しっかりとした理念を盛り込む必要があり、ホットイシューとなっている「Zero Deforestation」を大目標や目指すべき方向性として盛り込むべきである。
分別基準	基本は発生源で分けるということに異存はないが、収集した後に分けるという方法も考えながらやらないと、苦しくなるのではないか。
	実施の時には、それぞれの項目について、どの施設にどういう条件で受けってもらうのかというような受け側の事情を考慮して設計する必要がある。
	入口論として、どのくらいの量が出るかというのはもちろん、集めた後にリユース・リサイクルを進める上で、色々な技術を持っている方々がいらっしゃるので、そうしたことも発信していくべき。

## 第12回資源管理WGでいただいたご意見(3/3)

分野	ご指摘事項概要
分別基準	個別の議論が時間が掛かることも考えられるので、全体として整理できる部分と各論に入る部分と切り分けて議論していく必要がある。



資料 3

## 第 1 3 回資源管理WG資料

総務局 持続可能性部

2018年4月3日

2. 資源管理分野の全体的方向性
3. 運営計画第二版について
4. 今後の予定

## 2. 資源管理分野の全体的方向性

### 資源管理の大目標

Zero Wasting（資源を一切ムダにしない）

### 資源管理の全体的方向性（案）

#### 【現在】

資源をムダなく活用し、資源採取による土地の荒廃や、廃棄による環境負荷を抑制する



#### 【修正案】

資源をムダなく活用し、資源採取によるサプライチェーンでの森林破壊・土地の荒廃等と、廃棄物処理による環境負荷をゼロにすることを目指して、全員で取り組む

資源管理分野の全体的方向性について、WGの案を固めていただきたい



**これまでのWG等での議論を踏まえ、運営計画第二版の素案を作成**

**資料4 参照**

### 3. 運営計画第二版について (2/4)

計画第二版に記載している資源管理分野の目標一覧	関わりが強いSDGs項目 (案)
目標1 食品ロス削減 (食品廃棄物の発生抑制)	2、8、12、14、15、17
目標2 容器包装等削減	8、12、14
目標3 調達物品の再利用 (レンタル・リースの活用、使用後の再利用) ・再生利用	8、12、13
目標4 再生材の利用	8、12、13
目標5 入賞メダルへの再生金属利用	8、9、12、17

### 3. 運営計画第二版について (3/4)

計画第二版に記載している資源管理分野の目標一覧	関わりが強いSDGs項目 (案)
目標6 運営時廃棄物等の再利用・再生利用	8、11、12、17
目標7 食品廃棄物の再生利用	8、11、12
目標8 建設廃棄物等の再利用・再生利用	8、9、12
目標9 再生可能資源の持続可能な利用 (木材等)	8、12、15、17
目標10 環境中への排出の削減	8、12、13、15

### 3. 運営計画第二版について (4/4)

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 4. 今後の予定

### 策定までのスケジュール案

### 持続可能性に配慮した運営計画（第二版）2018年6月策定予定

	2018年			
	3月	4月	5月	6月
第二版策定 スケジュール	★資源管理WG ●委員会 ←IOC意見照会→	★資源管理WG ・持続可能性DG審議 ←第2回パブコメ→	・持続可能性DG審議	◎策定

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会  
持続可能性に配慮した運営計画 第二版（素案）  
資源管理パート抜粋

2018 年 4 月 3 日

DRAFT

# 目 次

## 序章

---

### 1. 基本的な考え方

---

- 1.1 基本理念
- 1.2 持続可能性の主要テーマ
- 1.3 関係組織
- 1.4 運営計画の適用範囲
- 1.5 持続可能な発展の統治原則
- 1.6 マネジメントの仕組み、ツール

### 2. 主要テーマごとの施策概要（目標とその達成に向けた施策）

---

- 2.1 気候変動
- 2.2 資源管理
- 2.3 大気・水・緑・生物多様性等
- 2.4 人権・労働、公正な事業慣行等への配慮
- 2.5 参加・協働、情報発信（エンゲージメント）

### 3. 実施主体別の行動計画・進捗状況（アクションプラン・プログレスレポート）

---

- 3.1 実施主体（FA）別の取組
- 3.2 会場整備関係の取組

### 4. 本計画の実現に向けたマネジメント及びツール

---

- 4.1 ISO20121 規格に則した持続可能性マネジメントシステム
- 4.2 モニタリングの適切な実施
- 4.3 様々な主体による検討及び進捗管理
- 4.4 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用
- 4.5 環境アセスメントの実施

### Appendix 持続可能性に配慮した運営方針

---

スポンサー持続可能性ネットワーク参画企業の取組

---

## 2. 主要テーマごとの施策概要（目標とその達成に向けた施策）

### 2.2 資源管理 ～資源を一切ムダにしない

SDGsでは、「持続可能な消費及び生産の形態を確保する」ことをゴール12に掲げている。多くの資材・物品等が調達・使用される東京2020大会において、ゴール12を実現する上で、大きな契機となるよう以下のことに取り組んでいく。

- ・大会の準備・運営のあらゆる側面において資源をムダにせず(資源効率の最大化)、
- ・調達から廃棄までのライフサイクルの視点で、資源を循環的に利用し(資源循環の確保)、
- ・これらの取組を実践し、アスリートや観客だけでなく世界の人々と共有する(資源循環に向けた協働の推進)

これらを踏まえ、東京2020大会では

Zero Wasting<sup>※</sup>（資源を一切ムダにしない）

ことを大目標とする。※その他案含めパブコメ結果とWG議論踏まえ反映予定

資源をムダなく活用し、資源採取によるサプライチェーンでの森林破壊・土地の荒廃等と、廃棄物処理による環境負荷をゼロにすることを目指して、全員で取り組む。



## 2.2.1 取組の考え方・優先順位

東京 2020 大会では様々な資源を利用する。大会で利用される資源のインプットの段階及び大会後のアウトプットの段階の両面で、取組を進める必要がある。

東京 2020 大会では、資源管理について、下図の優先順位の考え方で取り組み、インプットの段階から資源の有効活用・廃棄物の削減を意識するとともに、環境中への排出を最少化すべく、アウトプットの段階で適切な対応をとることが必要である。その上で、経済合理性の側面や実現可能性とのバランスを図りつつ、Zero Wasting の大目標を目指す。



資源管理分野の重要な要素の概念図

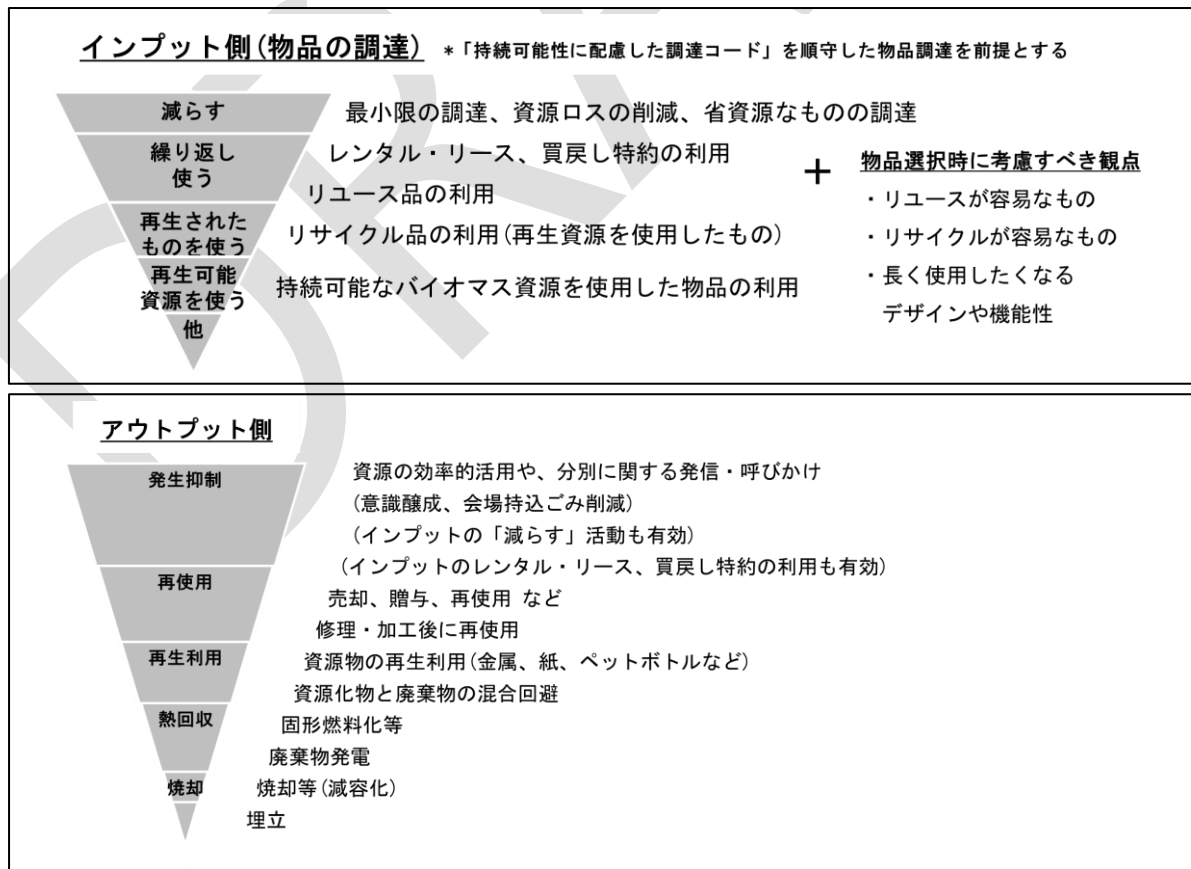
特に大会の準備運営に必要な物品資材の調達にあたっては、以下の点を配慮することが必要である。

<配慮すべき点>

- ・省資源や使用後の廃棄物の発生抑制に配慮した物品等の選択
- ・リユース物品や再生資源を活用した物品等の選択
- ・購入から後利用・廃棄処理までのトータルコストを勘案して最も有利な物品等の選択
- ・レンタルやリースの活用、買取特約付き購入など、再使用が確保された手法による調達

なお、物品資材の購入にあたっては、最安値の商品と比して少々高額の商品であっても、使用後に売却できる価値を有していれば、処分までのトータルコストが抑制できるメリットが十分あることを踏まえ、物品等を供給するスポンサー等デリバリーパートナーと連携を密にして調達を行うこととする。

### 資源管理分野における優先順位の考え方

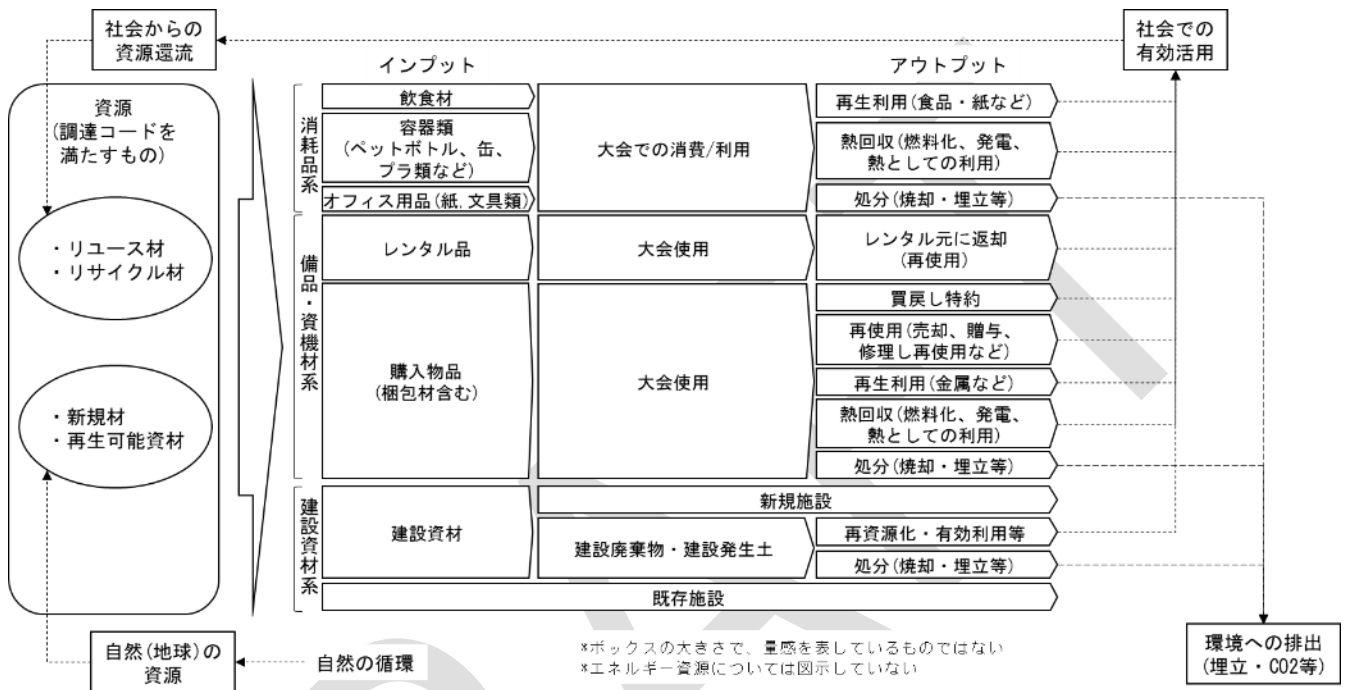


※持続可能性の点で有効であるときにはこの順位によらない。

## 2.2.2 大会に関わる資源関連情報の把握

資源管理の取組の基礎情報として、調達する物品等の量や、大会運営時に廃棄されるものの量など、大会に関わる資源の量の把握が重要であり、計画的にそれらの把握を進める。なお、ロンドン大会では、会場の設営・撤去に伴う廃棄物等として約6万トン、大会運営活動に伴う廃棄物等として約1万トンとの報告がある。

東京2020大会に関わる主な資源には、消耗品系、備品・資機材系、建設資材系があり、下図のような概要となる。それらの資源の状況を踏まえた、大会における資源管理の取組を検討する。



大会に関わる資源の主要な流れ

なお、大会で使用される会場については、気候変動の項でも述べたとおり、既存会場を最大限活用することを通じて新規恒久会場の建設を抑制することや、新たな施設の建設・改修等が必要な場合にあつては、可能な限り、恒久施設は長寿命設計がなされており、効率的な資源利用が図られている。大会会場における取組については、3章で詳細に記載しており、参照いただきたい。

## 2.2.3 資源管理分野の目標

ゴールの実現に向け、大会の資源利用を踏まえると、資源管理の目標設定にあたっては下表のような7つの視点が重要である。

目標に求められる重要な視点

	インプット側	アウトプット側
リデュース	①リデュース、資源の無駄の最少化	
リユース	②後利用に配慮した調達 リユース品の調達	⑤使用済み物品等のリユース
リサイクル	③リサイクルしやすい製品の調達 リサイクル品の調達	⑥使用済み物品等の リサイクル
地球環境保全の側面	④持続可能な資源管理	⑦環境中への排出の最少化

上記視点を踏まえ、上流(インプット側)と下流(アウトプット側)の両面で、次のような目標及び指標を設定する。

省資源に配慮した取組などによる新規資源投入量の削減など、資源の使用量を減らした上で、リデュース・リユース・リサイクルの徹底、廃棄物の処理に伴い生じる熱やエネルギーの回収により、あらゆる場面において持続可能な資源利用の確保に努める。

目標設定にあたっては、以下の観点などを総合的に勘案し、適切な対策を行う。

- ・量・質・レガシーへの貢献・評判への影響など大会としての重要性
- ・関連する主体や対象品目のバランス
- ・資源や廃棄物の観点だけでなく、気候変動（CO<sub>2</sub>排出低減）の観点

東京 2020 大会の資源管理分野の目標

		目標	
		インプット側	アウトプット側
人間・社会活動の側面	リデュース	1. 食品ロス削減（食品廃棄物の発生抑制） 2. 容器包装等削減 3. 調達物品のレンタル等活用による新規物品製造削減	
	リユース	3. 調達物品の再使用（レンタル・リースの活用、使用後の再使用）・再生利用	
	リサイクル	4. 再生材の利用 5. 入賞メダルへの再生金属利用	6. 運営時廃棄物の再使用・再生利用 7. 食品廃棄物の再生利用 8. 建設廃棄物の再使用・再生利用
地球環境保全の側面		9. 再生可能資源の持続可能な利用（木材等）	10. 環境中への排出の削減（埋立処分量、廃棄物由来 CO <sub>2</sub> の削減）

上記目標に対する具体的な指標は下表のとおりである。

東京 2020 大会の資源管理分野の具体的指標

目標	指標
<p>1. 食品ロス削減 (食品廃棄物の発生抑制)</p>	<p>以下の取組の実施状況により評価を行う。</p> <p>&lt;飲食提供受託事業者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食提供対象者数、競技日程等を考慮するとともに、ICT 技術等も活用して飲食提供数の予測に最大限取り組む</li> </ul> <p>&lt;提供時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポーションコントロールなどにより、食べきれる量を考慮して料理の給仕量を調節</li> </ul> <p>&lt;選手・大会関係者・観客等への意識啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品廃棄物抑制の重要性について意識啓発を行う</li> </ul> <p>&lt;計測&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品廃棄物の計量と見える化に可能な限り取り組む</li> </ul>
<p>2. 容器包装等削減</p>	<p>以下の取組の実施状況により評価を行う。</p> <p>&lt;調達時・提供時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポンサー・ライセンサー・サプライヤー・場内売場と連携し、容器包装等の使用量を可能な限り削減(梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋など)</li> </ul> <p>&lt;大会関係者・観客等への意識啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器包装等の削減に向けた呼びかけ</li> </ul> <p>&lt;測定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会における容器包装廃棄物の発生量等についてのデータを収集し、今後の大会に向けてのレガシーとする</li> </ul>
<p>3. 調達物品の再使用(レンタル・リースの活用、使用後の再使用)・再生利用／調達物品のレンタル等活用による新規物品製造削減</p>	<p>定量的・定性的両方の指標で評価を行う。</p> <p>&lt;定量的指標&gt;</p> <p>調達物品の再使用・再生利用率=</p> $\left( \frac{\text{再使用・再生利用された調達物品の重量}}{\text{調達物品の重量}} \right)$ <p>※物品調達時の重量ベースで計算</p> <p>&lt;定性的指標&gt;</p> <p>以下の取組の実施状況により評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調達物品は、可能な限りレンタル等を活用</li> <li>・ 調達段階で戦略的に後利用先を確保し、再使用・再生利用を追求する</li> </ul>

目標	指標
4. 再生材の利用	<p>以下の取組の実施状況により評価を行う。</p> <p>&lt;施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設建設において、再生材の利用に取り組む</li> <li>量的な把握に努め、実績値を示す</li> </ul> <p>&lt;調達物品&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物品調達の優先順位の考え方に基づき、再生材の利用に取り組む</li> <li>量的な把握に努め、計画・実績値を示す</li> </ul>
5. 入賞メダルの再生金属利用	<p>「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」における指標を適用する。</p>
6. 運営時廃棄物等の再使用・再生利用	<p>定量的・定性的両方の指標で評価を行う。</p> <p>&lt;定量的指標&gt;</p> <p>運営時廃棄物の再使用・再生利用率＝</p> $\left( \frac{\text{再使用・再生利用された運営時廃棄物の重量}}{\text{運営時廃棄物の重量}} \right)$ <p>※廃棄物として排出される時の重量ベースで計算</p> <p>&lt;定性的指標&gt;</p> <p>以下の取組の実施状況により評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会に参加する観客等に廃棄物の分別への協力を呼びかけることで、より多くのステークホルダーの参加を促す</li> </ul>
7. 食品廃棄物の再生利用	<p>定量的・定性的両方の指標で評価を行う。</p> <p>&lt;定量的指標&gt;</p> <p>食品廃棄物の再生利用率＝</p> $\left( \frac{\text{再生利用された食品廃棄物の重量}}{\text{食品廃棄物の重量}} \right)$ <p>※廃棄物として排出される時の重量ベースで計算</p> <p>&lt;定性的指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営時に、食品廃棄物を分別できるような運営を行う</li> </ul>
8. 建設廃棄物等の再使用・再生利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設会場における建設廃棄物の再資源化・縮減率</li> <li>新設会場における建設発生土の有効利用率</li> </ul> <p>※指標の詳細は、行政（東京都・国）の定義にしたがう</p>
9. 再生可能資源活用(木材等)	<p>施設や備品等における、再生可能資源の持続可能な利用(木材等)の各取組状況によって評価を行う</p>
10. 環境中への排出の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達物品・運営時廃棄物・建設廃棄物の埋立処分量を把握する</li> <li>気候変動対策と連携し、廃棄物由来のCO<sub>2</sub>排出量を把握する</li> </ul>

## 目標1 食品ロス削減（食品廃棄物の発生抑制）

食品ロスに関しては、調達時、調理時、提供時、消費時の各段階において、食品廃棄物の発生を最小限に抑制する取組が必要となる。このため、スポンサーやケータリング事業者との連携・協働により、一般に対する啓発効果が高く、家庭、事業者、大規模イベント等においても容易に実行可能なモデル的な取組等により、可能な限り競技会場や選手村等における食品ロス・食品廃棄物の削減を図る。

特に、おもてなしの観点からも、「温かいもの」は「温かいうちに」食してもらうことが最上のおもてなしであり、かつ、それが最高の食品ロス対策でもあることを念頭に、わが国の世界に冠たる多様な食文化で培ったハード・ソフト両面の技術を最大限生かして、「美味しく食し」「きれいに食べる」、それにより「もったいない」を具現化する取組の検討を行うことが必要である。

さらに、食品ロスは現在世界的に注目されている問題でもあるため、発生する食品ロスについてのデータを取ることで、今後の大規模スポーツイベント等において対策を進めるためのレガシーとする。

具体的には、組織委員会が直接食料の提供を行う施設においては、以下の取組などの実施が考えられ、今後、詳細な検討を行うなどして、効果的な食品ロス対策を講じることとする。

### <考えられる調達時対策例>

- ・大会前に、過去データ等からピーク時、平均時の必要供給量の予測を行い、かつ、その精度の向上に努める
- ・大会期間中において、供給量、消費量、残量を日々計測するなどして、日々の発注量の最適化を図る
- ・なお、選手村のメインダイニングは24時間食の提供を行うことから、需要の増減に応じた臨機応変な食材の仕入れ方策を検討精査し実現することで、予備発注量の最小化を図る

### <考えられる調理時対策例>

- ・大会前における過去大会や類似大会の消費状況を踏まえた日単位で必要量の推定
- ・大会時の実測定による大会前推定値の精査検証及び、翌日以降の発注への活用
- ・大会時における時間単位の消費状況調査（来場者数と消費量等の調査）の実施とその結果分析を考慮した発注数量の推定・最適化
- ・給仕用サブ皿への料理追加のタイミングの最適化

### <考えられる提供時対策例>

- ・状況に応じた給仕スタイル（カフェテリアスタイル又はbuffetスタイル等）の選択
- ・カフェテリアスタイルの場合におけるポーションコントロールの実施

### <考えられる消費時対策例>

- ・選手や観客などへの食品廃棄物抑制の重要性について意識啓発

## 目標2 容器包装等削減

### ア. 容器包装の削減

スポンサー・ライセンサー・サプライヤー・場内売場などと連携し、梱包材や包装材、使い捨て容器、レジ袋などの使用を最小化する。また、容器包装廃棄物の発生量等についてのデータを収集し、今後の大会に向けてのレガシーとする。

具体的には、以下の取組が考えられ、今後、詳細な検討を行うなどして、効果的な容器包装削減策を講じることとする。

### <考えられる対策例>

- ・お土産等の商品ごとの小袋の抑制
- ・会場でのマイバッグの販売によるレジ袋の削減
- ・観客や大会関係者などへの容器包装等削減の重要性等の意識啓発・呼びかけ

#### イ. その他の資源のムダを削減するための対策

オリンピックからパラリンピックへの移行の際の資源の効率的な活用

会場装飾や備品の調達に際しては、オリンピックからパラリンピックへの移行の際に変更が生じないような仕様にするとともに、やむを得ず変更を要する場合には、その移行の際に生じる廃棄物が最小となるような設計・調達に努める。

具体的には、以下の取組が考えられ、今後、詳細な検討を行うなどして、効果的な移行対策を講じることとする。

<考えられる対策例>

- ・オリンピックとパラリンピックのリバーシブルな装飾
- ・オリンピックとパラリンピックの違いを最小化して、ワッペン等の添付により代替する

### 目標 3 調達物品の再使用(レンタル・リースの活用、使用後の再使用)・再生利用

#### ア. 調達物品

組織委が行う物品サービス等の調達にあたっては、可能な限りレンタルやリースを活用し、シェアリングを推進する。また、購入した物品は、再販等の実施や国、自治体、スポンサー等との連携など戦略的に後利用先を確保するなどして再使用・再生利用を追求する。

(目標値)

調達物品の再使用(レンタル・リース含む)・再生利用率: 99%

#### イ. 仮設施設

仮設施設は可能な限り大会終了後も資材等が再利用可能な構造とする。

仮設・オーバーレイについては、後利用の確保を図り、大会後に環境に与える影響を最小化する。

### 目標 4 再生材の利用

#### ア. 建設工事における再生材の利用

施設建設においては、再生材の利用を推進する。また、再生材利用量を把握し、実績値を示せるよう取り組む。(仮設施設・オーバーレイにおいてレンタル又はリースにより調達する物品を除く。)

#### イ. 調達物品における再生材の利用

物品調達の優先順位の考え方に従い、可能な限り再生材由来の物品を調達することを推進する。また、再生材由来の物品調達量を把握し、実績値を示せるよう取り組む。

#### ウ. その他の対策

- ・大会関係者のユニフォームへのリサイクル素材の活用

大会関係者のユニフォームの製作にあたっては、素材に関する持続可能性の追求に留まるだけでなく、その製作過程におけるレガシー的取組についても検討を行うこととしている。

- ・水平リサイクル

ペットボトルにおけるボトル to ボトルの技術を活用するなどした東京 2020 大会での資源循環の実現などの検討を行う。

## 目標 5 入賞メダルへの再生金属利用

東京 2020 大会時の入賞メダル製作においては、入賞メダルの原材料となる金・銀・銅を、携帯電話をはじめとした小型家電等から抽出されるリサイクル金属を活用することによって調達する、国民参画型のプロジェクト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しているところである。

## 目標 6 運営時廃棄物等の再使用・再生利用

### ア. 運営時廃棄物

会場や選手村で発生する運営時廃棄物\*について、再使用・再生利用に取り組む。また、大会に参加する観客等に廃棄物の分別への協力を呼びかけることで、より多くのステークホルダーの参加を促すと共に、再使用・再生利用の最大化を図る。

運営時廃棄物の再使用・再生利用率：62～65%

\*ペットボトル・プラスチック類・紙類・食品類など、大会運営時に発生する廃棄物を指す

### イ. 食器の再使用・再生利用

食器の選択にあたっては、実現すべき飲食提供の形態と食器材質ごとの特徴、食器の種類ごとに必要となる施設条件を踏まえる等、諸課題を考慮し、リユース食器の利用に可能な限り取り組む。リユース食器が利用できない場合には、再生利用を行う。

## 目標 7 食品廃棄物の再生利用

食品ロスの発生を抑制することが重要であるが、発生してしまった食品廃棄物については、再生利用を目指す。

また、再資源化の前提となる、食品廃棄物の分別を徹底することのできる運営にも同時に取り組む。なお、選手村ダイニングなど組織委員会が直接、食の提供を行う場所(コントロールの効く場所)から排出される食品廃棄物は全量の再生利用を目指す。

## 目標 8 建設廃棄物等の再使用・再生利用

新設会場の建設廃棄物の再資源化・縮減率 99%以上(発生量に対する再資源化、縮減及び再使用された量の比率)、建設発生土の有効利用率 99%以上。仮設・オーバーレイについては、大会後に撤去する設備や物品が大量に発生するため、上記目標の達成に向けて最大限努力する。ただし、法令等の基準を満たしていないため、処分の方法が定められている土壌については目標に含まれない。

## 目標 9 再生可能資源の持続可能な利用(木材等)

組織委員会が整備する選手村ビレッジプラザでは、積極的に木材を活用するのみならず、大会で使われた木材をレガシーとして各地で活用するプロジェクト「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」を立ち上げ、レガシー的後利用の推進を図ることとしている。

また、新国立競技場では、木材と鉄骨を組み合わせた部材を採用するなどして、すべての観客席から木の温もりが感じられるようにするとともに、建物外周の軒庇や室内にも積極的な木材利用を図るなど、木



材を積極的に活用した世界に誇れる日本らしいスタジアムを目指している。

これらの施設を含め、大会で使用する施設や備品等において、木材をはじめとする再生可能資源の利用を推進する。また、再生可能資源＝バイオマス資源の採取に伴う森林減少、泥炭地火災、貴重な生態系の破壊、先住民族・地域住民の権利侵害等が指摘されていることから、組織委員会では、木材や紙、パーム油の調達基準を策定するなど、持続可能な形で採取等がされた資源の利用に取り組んでいる。

## 目標 10 環境中への排出の削減

### ア. 埋立処分量の削減

上記の施策により、大会に関連する廃棄物の埋立処分回避の最大化を図るとともに、調達物品・運営時廃棄物・建設廃棄物の埋立処分量を把握する。

### イ. 廃棄物由来 CO<sub>2</sub> の削減

気候変動対策と連携し、廃棄物由来の CO<sub>2</sub> 排出量を把握する。

## 2.2.5 廃棄物の分別

再使用及び再生利用の推進にあたっては、排出される廃棄物の適切な分別が不可欠である。環境省が策定している「大規模イベントにおけるごみ分別ラベル作成ガイドランス」等を参考に、海外からの観客にもわかりやすい分別ボックスの統一デザイン（色・ピクトグラム等）化を図るとともに、来場者に分別の呼びかけを行うことなどを通じて、来場者自らによる分別の徹底を図ることにより分別精度の向上を図る。

分別回収した廃棄物については、CO<sub>2</sub> 排出量の抑制も念頭に置き適切な処理業者等に委託し再生利用を図る。

加えて、東京 2020 大会で活用した物品等で記念品となりうるものについては、できる限り使用後に寄付、展示等で活用する（IOC、IPC と協議の上）。

## 2.2.6 熱回収・エネルギー回収

廃棄物焼却時の熱回収（廃棄物発電やその他の熱利用）は、循環型社会と低炭素社会を統合的に実現する上で重要であり、近年では廃棄物焼却施設は地域のエネルギーセンターとしての役割を担うなど廃棄物エネルギーの有効利用が図られている。

再使用・再生利用ができず焼却せざるを得ない廃棄物については、そのエネルギーを電力や熱として極力有効活用し、化石燃料等の使用量を削減することにより、地域の低炭素化を図る。

## 2.2.7 廃棄物の適正処理

発生する廃棄物については、あらゆる場面において「再生」を意識した分別処理を行うとともに、関係法令等を遵守した適正処理を実施する。

なお、処理の実施にあたっては、食品廃棄物の不適正な転売事案の発生等を踏まえ、廃棄物の処理を廃棄物処理業者に委託する際等には、適切な処理が行われるよう、この管理を徹底する。

## 2.2.8 管理・推進体制

大会の準備運営から、閉会後の施設や設備の撤去に至るまで、各 FA、サプライヤー、その他自治体・事業者等と連携して、購入や贈与等により取得する物品・資材の使用状況や、大会運営時に消費される消耗材など廃棄物発生量の推計並びにその処理状況等の管理を行う。

具体的には、物品等を購入や贈与により取得する段階から一元的に管理できるシステムを構築するとともに、大会後における使用済み物品の処分にあたっては、排出事業者責任が全うできる管理組織の仕組

み、関係者への研修・ガイドラインの策定、円滑に業務を進めるための支援の仕組み、関係者との密接な連携等を検討し、廃棄物や使用済み物品等の再使用・再生利用・処理が適正かつ滞りなく行われるよう、十分な体制構築を進める。

なお、組織全体として、資源管理を効率的かつ効果的に実施していくためには、全体管理を行うシステムの構築はもちろんのこと、再使用や再生利用のルートに関する情報など資源管理に必要な技術的支援を体系的に行い得る体制の構築や事務マニュアル等の整備が必要となることから、そうした再使用・再生利用を推進するためのガイドラインの策定を行うなど適切に対応する。

#### 2.2.9 参加・協働、情報発信（エンゲージメント）

大会に関連する新規資源の投入の最小化や、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の推進にあたっては、それに直接関わる組織委員会や行政機関、事業者に加え、ボランティアや観客といった一般の方々の理解と協力が不可欠である。このため、ボランティアや観客を含めた大会に関係するすべての人々が積極的に参加・協働しうる場を形成しつつ、広く情報発信するなどしてその取組の輪を広げることとする。

具体的には、ボランティアを含む大会運営に関わるスタッフに対し、持続可能性や資源管理の意義を伝える研修を実施し、意識向上を図る。さらに、競技会場や大会関連イベント等を訪れる一人ひとりの参加・協働により、廃棄物削減を目指す。

また、日本の「もったいない精神」や、大会のリデュース・リユース・リサイクルに関する取組を積極的に発信し、そもそもごみを出さないための行動や競技会場における分別ルールへの理解・協力を促進する。

なお、実施にあたっては、「2.5 参加・協働、情報発信（エンゲージメント）」に基づいて行うものとする。

### 3. 実施主体別の行動計画・進捗状況（アクション・プロGRESSレポート）

東京 2020 大会の持続可能性配慮施策について、組織的なマネジメントを行いながら、効果的かつ適切に実施するため、実施主体別に施策の進捗状況や課題、今後行うべき取組等を記載する。

まず、カーボンマネジメント等における各実施主体別の役割や取組を明らかにすることで、対策の進捗確認を着実に実施していくこととする。

また、大会の準備において先行して実施される会場の整備については、各実施主体においてこれまで実施してきた持続可能性に関する取組を明らかにするとともに、今後の取組について整理した。

#### 3.1. 実施主体（FA）別の取組

CO<sub>2</sub>削減対策の最大化を図るため、組織別（各 FA 別）の CO<sub>2</sub> 排出量と削減策、気候変動及び資源管理に関する施策概要を以下の通り整理するとともに、対策の進捗状況等を継続的にマネジメントする体制を構築する。

### 3.1.2 気候変動及び資源管理に関する各主体の役割

気候変動及び資源管理の推進にあたり、各 FA 及び機関は以下の役割を担い、計画・実行・確認の PDCA を進める。役割については、定期的に見直しを行う。(FA 名称については、3.1.1 参照)

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策	
FA 共通	オフィス等における省エネ活動により CO <sub>2</sub> 排出の削減に取り組む	オフィスや運営から発生する廃棄物の削減に取り組む	
総務	LGL	-	資源管理分野に関わる法的問題の支援
	PEM	制服制作に関連する排出量の把握・管理を行う	調達物品の 3R 実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		大会関係者の制服作成にあたって排出される CO <sub>2</sub> の削減を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		物品のレンタルやリースの活用による CO <sub>2</sub> 削減推進	レンタルやリースの活用
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減 (CO <sub>2</sub> )	関係者ユニフォームでのリサイクル素材活用
			梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化
			発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
			廃棄物の適正な管理の徹底
			再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
			持続可能性ボランティアの支援
	RSK	-	資源管理分野に関わるリスク対策の支援
	SUS	各機能の CO <sub>2</sub> 削減対応支援	各機能の資源管理対応支援（後利用・再資源化の処理方針策定、3R 情報の提供など技術的支援）
		CO <sub>2</sub> 排出量の全体把握・管理	廃棄物発生量の推計・実績把握、調達物品の 3R 実施・管理
		宿泊施設への働きかけ	ペットボトルなど運営時廃棄物の資源化処理の検討
		再エネ電力の調達支援	食品廃棄物の資源化の検討
カーボンオフセット(公式クレジット・再エネ電力・国民参加型)		分別表示の統一デザイン策定	
環境技術発信(バックヤードツアー・イベントでの発信)		競技・イベント参加者の参加・協働による廃棄物削減	
	CO <sub>2</sub> 削減の国民運動	分別ルールの周知徹底、3R の発信による理解促進	
	福島の再エネ水素(選手村)に関連する CO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う	スタッフへの持続可能性研修	
総務課	物品のレンタルやリースの活用による CO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の 3R 実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減 (CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達	
		レンタルやリースの活用	
		発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理	
		廃棄物の適正な管理の徹底	
		再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
総合調整課	-	資源管理関係の東京都やその他自治体等との調整支援	
連携調整課	-	-	
土地・施設利用調整課	-	-	
企画財務	CER (開閉会式課)	物品のレンタルやリースの活用による CO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の 3R 実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減 (CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		物品やエネルギーの使用における CO <sub>2</sub> 削減の検討	レンタルやリースの活用
			発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
			廃棄物の適正な管理の徹底
			再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
CUL	物品のレンタルやリースの活用による CO <sub>2</sub> 削減推進	委託業者の調達物品の 3R 実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減 (CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
			レンタルやリースの活用
		発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理	
		廃棄物の適正な管理の徹底	

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策	
		再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化	
EDU	-	-	
FIN		レンタルやリースの活用の促進 リユース市場関係の支援	
LGY	-	-	
PRC, RTC	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達の促進 レンタルやリースの活用の促進	
調整課	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品の調達から廃棄までの管理 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 発生した廃棄物：「再生」を意識した分別・適正処理・管理徹底	
企画課	-	-	
東京2020 認証推進課	-	-	
広報	COM	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 資源管理関係の広報対応
	DIG	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	PRS	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	PUB	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	調整課	-	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	事業部	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 調達物品の博物館等への寄付の支援
	マーケティング	BIL	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策	
国際	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 オリパラ移行時の廃棄物最小化(ルック・備品) 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	BUS	-	-
	LIC	ライセンス品に関連する排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		ライセンス商品に関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	レンタルやリースの活用
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	MPS	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	TKT	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )		物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達	
チケットホルダー自身によるカーボンオフセットプログラム		レンタルやリースの活用	
		発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
調整課	-	-	
事業部	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
DIP, PRT	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 都市鉱山からメダル製作 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
LAN	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品の調達から廃棄までの管理	

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策	
		物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底	
	NCS	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 各国・各地域のNOC/NPCによる航空カーボンオフセットプログラム利用の推奨と確認 物品の調達から廃棄までの管理 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底	
	OFS/PFS	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 物品の調達から廃棄までの管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
	スポーツ	SPT, INS	競技会場等に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う 会場の見直しなど、会場計画の最適化・最少化により、CO <sub>2</sub> 排出削減を行う 調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
			物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) レンタルやリースの活用 既存会場活用
			発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収			
大会準備 運営第一	ACR	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		放送サービスに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理に向けた協力を行う 放送サービスに関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う 「FAで調達する物品」及び「OBS・RHBとの共同事業で排出される物品」の、3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達、並びにOBS・RHBへの同様な物品調達の働きかけ レンタルやリースの活用	
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
	CCC	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策
DOP	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
FNB	飲食に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	廃棄物発生量の推計・実績把握、調達物品の3R実施・管理、
	ケータリング事業者によるCO <sub>2</sub> 削減に関わる環境配慮推進を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
	近傍食材活用に関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う	レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
		廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収に向けた取組 食品廃棄物の発生抑制 食品廃棄物の資源化に向けた取組
IKM	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品の調達から廃棄までの管理 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底
LIV	ライブサイトに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	委託業者の調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
	ライブサイトに関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	レンタルやリースの活用
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
MED	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
OPR, TEM	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
OTR	トーチリレーに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
	聖火リレーに関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
	聖火リレーにおいて用途に適した車両の選定によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う	レンタルやリースの活用
	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
PGI	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	オリパラ移行時の廃棄物最小化(ルック・備品)



FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策	
	PNC	-	
	SPX	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
			レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	調整課	-	-
企画課	-	-	
インテグリティ課	-	-	
大会準備運営第二	ACM	宿泊に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	-
		宿泊施設への省エネ等CO <sub>2</sub> 削減策の働きかけを行う	-
	AND	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
			レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
	CNW	廃棄物処理に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	廃棄物発生量の推計・実績把握、調達物品の3R実施・管理
		エコドライブ等の働きかけにより、CO <sub>2</sub> 排出削減に努める	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		効率的な輸送の働きかけにより、CO <sub>2</sub> 排出削減に努める	レンタルやリースの活用
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 3Rを意識したペットボトルなど運営時廃棄物の処理 食品廃棄物の資源化の実施 分別表示の統一 分別ルールの周知徹底
CTY	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達	
		レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
EVS	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達	
GOV		レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 競技・イベント参加者の参加・協働による廃棄物削減	
		-	
LOG	ロジスティクスに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握	
	エコドライブを働きかけることによって、CO <sub>2</sub> 排出削減に努める 効率的な輸送計画を立てることにより、CO <sub>2</sub> 排出量の削減に努める 物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化	

FA/部署/機関	気候変動に関する施策	資源管理に関する施策			
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理			
		廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収			
	SIG	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 オリパラ移行時の廃棄物最小化(ルック・備品) 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収		
		VEM	会場に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う 照明管理、空調管理による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う 物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> ) 撤去時のフロン漏えい防止によりCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収	
			VIL	選手村に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う 照明管理、空調管理による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う 福島の再エネ水素(選手村)に関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性についての検討に協力していく ノンフロン冷媒機器に関するCO <sub>2</sub> 排出量の削減可能性について検討を行う 物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 撤去時のフロン漏えい防止によりCO <sub>2</sub> 排出量削減の協力をを行う 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握 物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用 発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底 再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
				TRA (運営第二)	大会関係車両に関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握の支援を行う 大会関係車両：FCV, HVの低公害・低燃費車両導入による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う エコドライブを周知し、CO <sub>2</sub> 排出削減を働きかける 物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )
	自治体調整課				-
	防火調整課	-			
	警備	SEC			物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進 調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )

FA/部署/機関		気候変動に関する施策	資源管理に関する施策
テクノロジー	TEC	テクノロジーに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達 レンタルやリースの活用
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	
		IT活用によるPaperless化を図る Webオンライン会議推進による会議室の有効利用、人の移動の最適化を図る	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理 廃棄物の適正な管理の徹底
		再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収 IT活用によるPaperless化を図る Cloud化の推進で資産投資削減を図る	
会場整備	NRG	エネルギーに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		商用電力を活用し、非常用電源の利用を抑制し、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		高効率かつ省エネ性能の高い製品・部材調達、低公害型建機導入(大会関連会場)により、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する	レンタルやリースの活用
		照明管理、空調管理による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
		BEMS、スマートメーター等によるエネルギー管理による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う	廃棄物の適正な管理の徹底
		グリーン電力・熱証書の取得によるCO <sub>2</sub> 削減を行う	再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
		再エネ電力の調達によるCO <sub>2</sub> 削減を行う	
		再生可能エネルギーの利用推進(バイオ・再エネ由来水素・太陽光など)	
		物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	
	調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )		
	VNI	会場インフラに関するCO <sub>2</sub> 排出量の把握・管理を行う	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		環境に配慮した建設資材の活用によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		リサイクル材の活用によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	レンタルやリースの活用
		高効率かつ省エネ性能の高い製品・部材調達、低公害型建機導入(大会関連会場)によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	仮設会場は大会終了後も資材等が再利用可能な構造
		ノンフロン冷媒の導入によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	仮設会場資材の再利用
		撤去時のフロン漏えい防止によりCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う	工事での再使用資材活用
		緑陰創出によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	会場建設でのエコマテリアル活用
		日除け設置によりCO <sub>2</sub> 削減を行う	梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋使用最小化
		CO <sub>2</sub> 表示システムにおけるCO <sub>2</sub> 削減を行う	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進		廃棄物の適正な管理の徹底	
調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収		
仮設会場、オーバーレイ、設備に関連する排出量の把握・管理を行う			
会場の見直しなど、会場計画の最適化・最少化により、CO <sub>2</sub> 排出削減を行う			
仮設会場、オーバーレイ、設備に関連するCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う			

FA/部署/機関		気候変動に関する施策	資源管理に関する施策
施設整備調整	TRA (施設整備)	物品のレンタルやリースの活用によるCO <sub>2</sub> 削減推進	調達物品の3R実施・管理、廃棄物発生量の推計・実績把握
		調達コードに準じた環境物品調達による環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )	物品調達：調達段階から計画的に省資源に配慮した物品や、廃棄物が発生しない又は発生しにくい物品の調達
		公共交通網の活用による省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う	レンタルやリースの活用
		観客用シャトルバス：可能な限りHV,FCVなどの利用に努め、省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う。	発生した廃棄物の「再生」を意識した分別・処理
		交通需要マネジメント(TDM)の実施により、効率的な輸送を実現するとともに省エネ・CO <sub>2</sub> 削減を行う	廃棄物の適正な管理の徹底
東京都		会場における再エネ設備の導入や省エネ技術の導入	再使用・再生利用ができない廃棄物の熱回収
		環境物品調達による環境負荷低減	建設工事における環境配慮資材の活用や、建設廃棄物の再生利用促進
		会場運営における再エネ電力の利用(組織委員会と連携)	環境物品調達による環境負荷低減
		交通需要マネジメント(TDM)の実施による効率的な輸送や燃料電池バスの活用により、省エネ・CO <sub>2</sub> の削減を行う	大会時の調達物品の後利用の支援
		LED普及促進などのスマートエネルギー都市の推進	メダルプロジェクトなどを通じた3Rの推進
国		会場における再エネ発電設備の導入や最新省エネ技術の導入	建設工事における環境配慮資材の活用や、建設廃棄物の再生利用促進
		建設工事における低炭素エネルギーの利用(現場での小規模利用)や、環境負荷の低い資材の利用	環境物品調達による環境負荷低減
		ホスト国の取組のなかでの脱炭素の呼びかけ	ホスト国の取組のなかでの資源管理の呼びかけ
上記以外の施設管理者(自治体施設等含む)		CO <sub>2</sub> 削減活動推進・管理 ※今後の調整・進展にしたい、役割の見直し・加除を行う	資源管理活動推進・管理 ※今後の調整・進展にしたい、役割の見直し・加除を行う

## (参考)

ファンクショナルエリア (FA) 一覧			
	英語	略語	日本語
1	Accommodation	ACM	宿泊
2	Accreditation	ACR	アクレディテーション
3	Arrivals & Departures	AND	出入国
4	Brand Protection	BRP	ブランド保護
5	Brand, Identity & Look of the Games	BIL	大会のブランド・アイデンティティ・ルック
6	Broadcast Services	BRS	放送サービス
7	Business Development	BUS	ビジネス開発
8	Ceremonies	CER	セレモニー
9	City Activities & Live Sites	LIV	都市活動・ライブサイト
10	City Operations	CTY	都市運営調整
11	Cleaning & Waste	CNW	清掃・廃棄物
12	Communications (including Digital Media and Publications)	COM,DI G,PUB	コミュニケーション (デジタルメディア・出版物含む)
13	Communications, Coordination & Command/Control	CCC	コミュニケーション・コーディネーション・コマンド/コントロール
14	Culture	CUL	文化
15	Doping Control	DOP	ドーピングコントロール
16	Education	EDU	教育
17	Energy	NRG	エネルギー
18	Event Services	EVS	イベントサービス
19	Finance	FIN	財政
20	Food & Beverage	FNB	飲食
21	Government Relations	GOV	国・自治体調整
22	IF Services (included under Sport)	INS	IFサービス (競技に含まれる)
23	Information & Knowledge Management	IKM	情報・知識マネジメント
24	Language Services	LAN	言語サービス
25	Legacy	LGY	レガシー
26	Legal	LGL	法務
27	Licensing	LIC	ライセンス
28	Logistics	LOG	ロジスティクス
29	Marketing Partner Services	MPS	マーケティングパートナーサービス
30	Medical Services	MED	メディカルサービス
31	NOC & NPC Services	NCS	NOC・NPCサービス
32	Olympic & Paralympic Family Services (including Dignitary Programme and Protocol)	OFS, PFS,DIP ,PRT	オリンピック・パラリンピックファミリーサービス (要人へのプログラム・プロトコール含む)
33	Operational Readiness	OPR	運営実践準備管理
34	Paralympic Games Integration	PGI	パラリンピックインテグレーション
35	People Management	PEM	人材管理
36	Planning & Coordination	PNC	計画・調整
37	Press Operations	PRS	プレスオペレーション
38	Procurement (including Rate Card)	PRC,RT C	調達 (レートカード含む)
39	Risk Management	RSK	リスクマネジメント
40	Security	SEC	セキュリティ
41	Signage	SIG	標識・サイン
42	Spectator Experience	SPX	観客の経験
43	Sport	SPT	競技
44	Sustainability	SUS	持続可能性
45	Technology	TEC	テクノロジー
46	Test Events Management	TEM	テストイベントマネジメント
47	Ticketing	TKT	チケット
48	Torch Relay	OTR	聖火リレー
49	Transport	TRA	輸送
50	Venue Management	VEM	会場マネジメント
51	Venues & Infrastructure (including Venue Development and General Infrastructure)	VNI	会場・インフラ (会場設営・一般的なインフラ含む)
52	Villages Management	VIL	選手村マネジメント